

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ディグスマイル前橋西教室		
○保護者評価実施期間	2024年7月24日		2024年8月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23	(回答者数) 13
○従業者評価実施期間	2024年7月24日		2024年8月10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2024年8月31日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	事業所の職員から共感的に支援している	お子様が誤った行動を行った場合、理由の引き出しを行い、お子様の気持ちを汲み取っています。	トラブルに発展する前に、安心して気持ちの相談が出来るように支援を行って参ります。
2	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されている	5領域に沿って、一週間バランスよくプログラムを組み込んでいます。 お子様の特性に合わせ、プログラムの内容をよりコミットしたものに昇華出来ています。	全体支援、全体プログラムになっている為、お子様に合わせた個別支援を行う時間を留意し、個々の課題に沿った活動を行っていきます。
3	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われています。	定期的に避難訓練を行い、職員とお子様の意識を高めています。また、災害時の備蓄品も確認し非常食の賞味期限の確認や備品の劣化の確認も行っています。	災害時の避難場所の周知は、職員間では行っていますが、児童様への周知が出来ていない為、お子様にわかりやすいチラシを作っていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がすくない。	休日は外出イベントのみで、当教室では外出が好きなお子様が少なく教室内での活動が多くなっています。	地域で行っているお子様も参加ができるイベントに積極的に参加できるような企画を立てていく。 同じディグ・スマイルの教室とのかかわりも同時に増やしていく。
2	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていない。	ペアレント・トレーニングができる職員が少ないです。 また、家族様等参加できる研修も現在調整出来ていない現状です。	家族支援についての研修会に参加して、職員の育成を行っていきます。 ハッピーのオンライン家族支援に職員も参加をし、知識やノウハウを取得する機会を作っていきます。
3	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知が弱い。また、発生を想定した訓練を実施しているが保護者様に周知が弱いと感じている。	ご契約時に各種マニュアルの説明を行っていますが、マニュアルに改正があった際の説明は出来ていません。	保護者様から情報を求められた際には、情報提供がスムーズにできるように準備を行っていきます。 また伝達が必要なマニュアル改正の際には、それをまとめて利用者様へお見せが出来るようにファイリングも最新のものを準備していきます。